

# 予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：中小企業振興費

## 事業名 ソフトピアジャパン・ワークショップ24外壁等改修工事費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 産業技術課 I T利用促進室 I T拠点活用推進係

電話番号：058-272-1111 (内 3051)

E-mail：[c11352@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11352@pref.gifu.lg.jp)

### 1 事業費 180,149 千円 (前年度予算額：0 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収入	寄 附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	180,149	0	0	0	0	0	0	0	180,149
決定額									

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ソフトピアジャパン・ワークショップ24の外壁等の修繕に要する経費。

ソフトピアジャパン・ワークショップ24は竣工後19年(H14年3月竣工)を経過するが、いずれも大規模修繕をまだ行っていない。

建築基準法第12条に基づく点検や指定管理者による日常の管理点検を行った結果、外壁のシーリング劣化やモルタル壁のクラック、屋上の防水シートの浮きが進んでおり、漏水箇所があることが判明した。現に、平成30年の台風21号の暴風雨の時に、1階の庇天井の一部が崩落する被害が生じた。平成31年3月に庇天井の復旧に加え、周辺の外壁シーリング張替えを行ったが、既に同じ個所で漏水跡が確認され、根本的な解決に至っていない。

そのため、外壁のシーリング張替え等を行うことで施設を長期的にまた安定的に管理運営する体制をつくる。なお、安心して安全な施設を利用できることがIT関連企業の集積・入居率の向上や、施設の貸出利用に繋がる。

## (2) 事業内容

ソフトピアジャパン・ワークショップ24の外壁シーリングや屋上防水などを修繕する。※令和2年度に実施設計済み

## 3 事業費の積算内訳

令和3～4年度

(千円)

	計	内訳計	
		情報産業施設	県営住宅
工事請負費	213,568	171,709	41,859
委託料	(工事監理) 6,485	5,214	1,271
事務費等(工事費の0.3%) ※代替駐車場使用料含む	3,352	3,226	126
合計	223,405	180,149	43,256

(事務費内訳) 旅費123、役務費220、消耗品費254、燃料費44

※R3～4は債務負担設定

### 決定額の考え方

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

#### II ふるさと岐阜県の資源を活かした活力づくり

##### 1 モノをつくって、地域外からお金を稼ぐ地域をつくる

◆ソフトピアジャパンのIT関連企業の集積や優れた情報基盤を活用し、地域産業の高度化を担う産業人材を育成・供給し、地元のIT企業の競争力を強化する。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

建築基準法第12条に基づく点検や指定管理者による日常の管理点検の結果、外壁のシーリング劣化やモルタル壁のクラックなどが進んでおり、漏水箇所があることが判明した。現に、台風など大雨の時に、外壁の劣化等が原因と思われる雨漏りがたびたび発生している。外壁のシーリングの塗替え等を行うことで、施設を長期的にまた安定的に維持管理できる体制をつくる。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	R2年度	R3年度	R4年度	終期目標	達成率
		実績	目標	目標	(R6)	
ソフトピア ジャパンセン ター入居施設 入居率 [課内指標]	センタービル、 アネックス及び ドリーム・コア 62.7%(H17)	75.0% (R3.4.1 現在)	80.0% (R4.4.1 時点)	80.0% (R5.4.1 時点)	80.0% (R7.4.1 時点)	93.8%
	ワークショップ24 54.1%(H25.3)	入居施設入居率 80%維持を目標				

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	・実施設計により工事内容と工事費を確定
令和 3 年度	令和5年度当初予算にて追加
指標① 目標：__ 実績：__ 達成率：__%	

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</li> </ul>	
(評価) 3	入居者及び利用者に不利益を与えないよう、不断の施設維持が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</li> </ul>	
(評価) 2	必要最低限の修繕により施設の維持管理を行っている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</li> </ul>	
(評価) 2	中長期保全計画を作成し、また、指定管理者と連携を密にとり、優先順位が高く必要な修繕を実施し、経費の節減を図っている。

### (今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 施設の耐用年数を延ばすためにも、引き続き予防保全を含む施設の維持修繕を行っていく。</li> </ul>
---

### (次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 施設利用者等が安心して安全な施設を利用できるよう施設維持に努める。</li> </ul>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	